

編集後記

桜の花の開花と入学式がいっしょになるのは東京ではめずらしいことです。真新しいランドセルを背負って駆け抜けていく小学生を見ると春が来たことが実感され嬉しくなります。

桜満開、次には葉桜、緑の鮮やかな季節がやってきます。

我が家の裏にはグリーンベルトがあります。30年以上経った大きな木が日影をつくってくれ、夏は最適な散歩場所になっていました。ところが、今年に入ってから、古木は危険、木々に覆われた場所は犯罪が起きやすいとの理由で、半分以上の木が伐採されてしまいました。交通量の多い道路の脇にあるグリーンベルトは騒音よけ、風よけになってくれていました。あの3：11の震災にも倒れず頑張ってくれた木々たちだったのにととても残念です。

もう少しで桜の花が咲くというときに、ばっさり枝を切られてしまって数輪寂しそうに咲いていたのもこの間のことでした。環境のサステナビリティを考えていなかったのでしょうか。次に代わりになる何かをもっと早く準備して徐々に危険性の高くなった木を伐採していく、こんなことを誰も考えていなかったのでしょうか。見通しのよくなった緑地帯を見る度に寂しくなります。

持続可能性を考えながらの運営と言えば、人権ネットワークもそうです。3月25日の祝賀会にはたくさんの方が出席してくださいました。若い方もたくさん来て下さっていて、うまくバトンタッチをしなくてはと思いました。

5月27日にネットワークの定時総会が三田の機械工具会館で行われます。平成29年度の方針を決める集まりですから、たくさんの皆さまにご参加いただき、ご意見をお伺いできれば幸いです。皆さまに参加したいと思っていただけるような行事の企画をしていきたいと思います。一昨日、会員の方が上野のお花見の帰りに立ち寄ってくださいました。皆さま、どうぞお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

(事務局)